

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2020年8月12日
【四半期会計期間】	第27期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	ユニフォームネクスト株式会社
【英訳名】	UNIFORM NEXT CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 横井 康孝
【本店の所在の場所】	福井県福井市八重巻町25号81番地
【電話番号】	0776 - 43 - 1034(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 吉川 貴之
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市八重巻町25号81番地
【電話番号】	0776 - 43 - 1034(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 吉川 貴之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第2四半期累計期間	第27期 第2四半期累計期間	第26期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年6月30日	自2020年1月1日 至2020年6月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	2,414,404	2,427,050	4,714,798
経常利益 (千円)	185,945	117,582	363,859
四半期(当期)純利益 (千円)	120,545	79,421	241,526
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	342,079	348,899	346,719
発行済株式総数 (株)	2,459,962	2,487,162	2,483,162
純資産額 (千円)	1,911,130	2,100,341	2,041,391
総資産額 (千円)	3,275,040	3,332,983	3,140,956
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	49.00	31.98	97.87
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	48.29	31.76	96.64
1株当たり配当額 (円)	-	-	10.00
自己資本比率 (%)	58.4	63.0	65.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	294,465	60,896	335,382
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	110,081	31,633	95,463
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	77,074	77,306	120,270
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,398,828	1,363,123	1,411,166

回次	第26期 第2四半期会計期間	第27期 第2四半期会計期間
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	38.39	38.70

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社の事業等への影響は、今後新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により、当社の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、期初の緩やかな回復基調での推移が一転し、後半は新型コロナウイルスの拡大による自粛に伴い、急速な悪化が続き極めて厳しい状況にありました。企業収益は急速に減少し雇用情勢は弱い動きとなっております。

かかる状況の下、当社は、空調服等の売れ筋商品を中心とした在庫拡充を積極的に行い、5月の気温上昇に伴った季節性商品の需要に対応いたしました。また、新型コロナウイルスによる自粛、解除の動きに合わせて臨機応変にカタログ配布やWEB広告を展開し効率的な集客に努めました。2月末にリリースした新受発注システムは受発注処理の効率化、ユーザーのECサイト購入の利便性向上に貢献しております。訪問販売においては、引き続きユニフォームを通じた顧客企業業績の改善をテーマとし、顧客の潜在的ニーズの発見と充足に重点を置いて提案の深化に取り組んでまいりました。

販売状況に関して、サービス部門においては、3月からの新型コロナウイルス感染拡大により、飲食店の営業時間短縮や自粛、イベントの中止などの影響を受け売上が伸び悩んだ結果、売上高は1,057,370千円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

オフィスワーク部門においては、2月までは記録的暖冬の影響により防寒商品の販売が伸び悩み、3、4月も新型コロナウイルスによる経済活動の自粛の影響を受けたものの、5月以降は自粛解除による反動と在庫を拡充した空調服の販売により売上を大きく伸ばした結果、同部門の売上高は1,231,452千円（同18.5%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,427,050千円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益106,532千円（同42.0%減）、経常利益117,582千円（同36.8%減）、四半期純利益79,421千円（同34.1%減）となりました。

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ192,026千円増加し、3,332,983千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ294,960千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が184,568千円、商品が77,888千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ102,933減少いたしました。これは主に、固定資産の圧縮による有形固定資産の減少68,632千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ133,076千円増加し、1,232,641千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ187,079千円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が237,059千円増加し、電子記録債務が6,710千円、未払法人税等が33,200千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ54,002千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が52,476千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ58,950千円増加し、2,100,341千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行による資本金の増加2,180千円、資本剰余金の増加2,180千円、四半期純利益79,421千円及び剰余金の配当24,830千円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,363,123千円となり、前事業年度末に比べ、48,043千円減少いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、60,896千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益119,650千円、減価償却費が37,860千円と売上債権の増加184,568千円、たな卸資産の増加78,645千円、仕入債務の増加230,349千円、法人税等支払額68,820千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、31,633千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出35,312千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、77,306千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出52,476千円、配当金の支払額24,830千円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社は、事業運営上必要な流動性と資金の源泉を安定的に確保することを基本方針としており、主な資金需要は、人件費及びリスティング広告等の広告宣伝費などの営業費用であります。

短期運転資金は自己資金を基本としており、設備投資や長期運転資金の調達につきましては、金融機関からの長期借入を基本としております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,400,000
計	7,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,487,162	2,487,162	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	2,487,162	2,487,162	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年6月12日	4,000	2,487,162	2,180	348,899	2,180	353,168

(注) 譲渡制限付株式報酬としての新株発行による増加であります。

発行形態 有償第三者割当

発行価額 1,090円

資本組入額 545円

割当先 当社の取締役を兼務しない執行役員1名、当社の従業員20名

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
ディマウス合同会社	福井県坂井市丸岡町磯部島第9号13番地22	980	39.40
横井 康孝	福井県坂井市	276	11.09
横井 亜希子	福井県坂井市	132	5.30
UBS AG SINGAPORE (常任代理人 シティバンク、 エヌ・エイ東京支店)	AESCHENVORSTADT 1, C H - 4 0 0 2 B A S E L S W I T Z E R L A N D (常任代理人住所 東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	119	4.79
横井 孝志	東京都世田谷区	112	4.50
横井 杜王	福井県坂井市	92	3.69
横井 勇神	福井県坂井市	92	3.69
ユニフォームネクスト 社員持株会	福井県福井市八重巻町25号81番地	54	2.17
藪 太一	滋賀県草津市	44	1.76
前田 和彦	福井県福井市	40	1.60
計	-	1,941	78.05

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,486,100	24,861	-
単元未満株式	普通株式 1,062	-	-
発行済株式総数	2,487,162	-	-
総株主の議決権	-	24,861	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ユニフォームネクスト株式会社	福井県福井市八重巻町25号81番地	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

(注) 当社は、単元未満の自己株式を66株保有しております。

なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「単元未満株式」の欄に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,411,166	1,363,123
受取手形及び売掛金	138,507	323,075
商品	299,805	377,693
貯蔵品	843	1,600
その他	12,060	91,924
貸倒引当金	55	129
流動資産合計	1,862,329	2,157,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	815,152	732,554
構築物(純額)	43,674	41,584
機械及び装置(純額)	19,150	16,558
車両運搬具(純額)	1,174	2,068
工具、器具及び備品(純額)	12,131	10,039
土地	216,779	216,779
有形固定資産合計	1,108,062	1,019,585
無形固定資産		
ソフトウェア	12,526	116,004
その他	114,500	1,145
無形固定資産合計	127,027	117,150
投資その他の資産	43,537	38,958
固定資産合計	1,278,627	1,175,693
資産合計	3,140,956	3,332,983
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,517	385,577
電子記録債務	229,557	222,847
1年内返済予定の長期借入金	104,952	104,952
未払法人税等	75,788	42,587
賞与引当金	36,500	30,000
その他	258,327	254,758
流動負債合計	853,643	1,040,722
固定負債		
長期借入金	228,448	175,972
ポイント引当金	13,581	12,208
長期未払金	3,893	3,739
固定負債合計	245,922	191,919
負債合計	1,099,565	1,232,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,719	348,899
資本剰余金	350,988	353,168
利益剰余金	1,343,839	1,398,429
自己株式	156	156
株主資本合計	2,041,391	2,100,341
純資産合計	2,041,391	2,100,341
負債純資産合計	3,140,956	3,332,983

(2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,414,404	2,427,050
売上原価	1,504,038	1,517,641
売上総利益	910,365	909,409
販売費及び一般管理費	726,727	802,877
営業利益	183,637	106,532
営業外収益		
受取利息	1	0
受取補償金	-	8,400
祝金受取額	1,420	-
その他	1,603	3,184
営業外収益合計	3,025	11,585
営業外費用		
支払利息	717	535
営業外費用合計	717	535
経常利益	185,945	117,582
特別利益		
補助金収入	-	70,700
特別利益合計	-	70,700
特別損失		
固定資産圧縮損	-	68,632
特別損失合計	-	68,632
税引前四半期純利益	185,945	119,650
法人税、住民税及び事業税	68,866	36,175
法人税等調整額	3,466	4,054
法人税等合計	65,399	40,229
四半期純利益	120,545	79,421

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	185,945	119,650
減価償却費	25,716	37,860
固定資産圧縮損	-	68,632
補助金収入	-	70,700
貸倒引当金の増減額(は減少)	34	74
賞与引当金の増減額(は減少)	7,944	6,500
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,616	1,373
受取利息及び受取配当金	1	1
支払利息	717	535
売上債権の増減額(は増加)	83,423	184,568
たな卸資産の増減額(は増加)	77,363	78,645
仕入債務の増減額(は減少)	191,742	230,349
その他	98,600	14,937
小計	351,527	130,250
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	717	535
法人税等の支払額	56,345	68,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,465	60,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	48,515	1,353
無形固定資産の取得による支出	61,918	35,312
その他	352	5,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,081	31,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	52,476	52,476
配当金の支払額	24,598	24,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,074	77,306
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	107,309	48,043
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,519	1,411,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398,828	1,363,123

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社の事業活動への影響は、現時点におきましては、限定的な範囲にとどまっております。しかし、新型コロナ感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当第2四半期会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2020年12月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間において、国庫補助金の受け入れにより、建物について68,632千円の圧縮記帳を行いました。なお、有形固定資産に係る国庫補助金の受け入れによる圧縮記帳累計額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
建物	- 千円	68,632千円
計	-	68,632

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給料及び手当	128,071千円	160,980千円
賞与引当金繰入額	38,348	26,888
退職給付費用	4,050	4,626
広告宣伝費	237,075	287,657
ポイント引当金繰入額	1,616	1,373

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	1,398,828千円	1,363,123千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	1,398,828	1,363,123

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	24,598	20	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月25日 定時株主総会	普通株式	24,830	10	2019年12月31日	2020年3月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	49円00銭	31円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	120,545	79,421
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	120,545	79,421
普通株式の期中平均株式数(株)	2,459,896	2,483,514
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	48円29銭	31円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	36,573	16,913
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月12日

ユニフォームネクスト株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高野 浩一郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石橋 勇一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユニフォームネクスト株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第27期事業年度の第2四半期会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ユニフォームネクスト株式会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。